

薬樹 SDGs
女性の健康
プロジェクト

薬樹の草の根的SDGs「健康さんじゅうまる」 「女性の健康プロジェクト」新たなる一步

立地から機能へと施策誘導されているとはいえ、「薬局を選ぶ基準」は依然、利便性や病院から近いといった立地性に負うところ大であろう。公定価格ではなく、継続性と収益性に基づいた社会インフラとして患者・顧客に選ばれる薬局。デジタル化や薬局DXの先に、初めて意味ある差別化が見えてくるのではないだろうか。SDGsや女性の健康で「草の根」的に存在価値を見出している薬樹。店舗運営支援部・特命担当の照井敬子さんと、執行役員 健ナビ事業本部事業部長の中村麻衣子さんに取り組みを伺った。

SDGsの観点から選ばれる薬局へ

店舗運営支援部・特命担当 照井敬子さん

SDGs（持続可能な開発目標）は2015年に国連総会で採択された国際目標だが、人から社会へ、社会から地球へと健康の輪が年輪のように広がっていく願いを表す薬樹の「健康さんじゅうまる」は、SDGs以前から取り組まれていた。

例えば、エコキャップや天ぷら油などの資源回収は、地域に根付いたSDGsそのものと言えるだろう。

薬剤師と言えば胸ポケットのボールペンと白衣姿のイメージ。薬樹はその白衣を自社クリーニング事業所で、障害者雇用によって運営している。物を大切にする、リユースするという考え方を社員全員で共有しているという。

「業務関係にある医療機関や同業他社様にもご利用いただいております。ステークホルダーに賛同していただきながら、続けていきます。大和市に事業所があることから、同市のゆるキャラも時々見かけます」と照井

さん。

地球の健康まで意識し、サステナブルな取り組みを通じて薬局の活動への賛同を得て、長いスパンで普遍的に薬局を選んでもらう。そこには、処方箋も立地も、ひいては調剤報酬も影をひそめてしまうような、地中深く根を張る樹木の力強さが感じられる。文字通り、「健康さんじゅうまる」を地で行く日々の営みに相違ない。

「女性の健康プロジェクト」働く女性のパフォーマンス最大化へ

執行役員

健ナビ事業本部事業部長 中村麻衣子さん

特命担当の照井さんがSDGsに基づいた横断的な活動をしている中で、「薬樹女性の健康プロジェクト」は「健康さんじゅうまる」から伸びる青々とした枝葉と言えるのではないだろうか。

[次頁につづく](#)

LINE相談で
生理（月経）と上手く
付き合いませんか

生理中に摂るべき栄養は？
PMS（月経前症候群）かも？
生理痛つらいなあ～みんなもそうなの？
生理のつらさを和らげるお薬ってあるの？
など

薬樹薬局の
薬剤師や管理栄養士
思春期保健相談士
が相談にのります



LINE WORKS



経済的理由やアンコンシャスバイアス（無意識の偏見）による「生理の貧困」は、SDGsの目標と深く関わる社会問題だ。薬樹女性の健康プロジェクトの取り組みの中に、次のような事例がある。

〈薬剤師がある患者に受診勧奨をしたところ、その子の親のアンコンシャスバイアスによって医療機関に受診できないことがあった。薬剤師が親を根気強く説得して、ようやく受診できることになった〉

「時間をかけて親を説得して、めぐり巡ってきた1枚の処方箋。だからこそ価値ある1枚だと思います」と照井さん。一方、「医療にアクセスできない人をつなぐのも、私たちの大切な取り組みだと思います」と中村さん。「知恵と（思いを共にした）マンパワーだけで、こんなこともできるという実績を示したい」と、二人は意気込む。

女性の健康プロジェクトで、新しい取り組みが始まっている。

健康経営の認定を受けた同社では社内セミナーにも力を入れる。国際女性デーに合わせて、去年は「月経と仕事のパフォーマンス」、今年「プレコンセプションケア」をテーマに開催したという。

薬剤師や薬局管理栄養士は女性の健康とからだのことについて、どうマネジメントしたらいいか、一般的な女性より理解していると言える。その意味では、働く女性が増え、健康経営においても女性の健康がより重要性を高めている中で、他業態の企業にも薬局のポテンシャルを発揮できる環境は広がっているように思う。

実際、薬樹では管理栄養士と薬剤師が「働く女性の健康」をテーマに、特に更年期に着目した健康経営セミナーを行う予定だという。

「働く女性が多くなってきて、国や行政の施策にも『女性の健康』が掲げられてきています。薬局が働く女性のパフォーマンス最大化のアドバイスに関わるが増えてくるのではと思います」（中村さん）

薬樹スタッフ有志による「薬樹女性の健康プロジェクト」。草の根的な活動を続けながらも少し、時代が追い付いてきたとも言えるのではないだろうか。

[薬樹株式会社](#)



(文 = 石川良昭、写真提供 = 薬樹)



男女共同参画センター横浜南主催「私の生理と向き合おう 対談&相談会&ヨガ」で講演



所。〈上〉障害者雇用によって運営しているクリーニング事業
所。〈下〉エコキャップや天ぷら油などの資源回収の模様